

奈井江町 第5期まちづくり計画 後期実施計画に係るパブリックコメント

【募集期間】 平成22年1月27日～平成22年2月2日

1. 安全で環境にやさしいまちづくり

(1)安心して快適に移動できる道路交通体系をつくります
1. 車両、歩行者が利用しやすい道づくりを進めます
狭窄した橋は、使用頻度は少ないが老朽化が目立ち、除雪車の運行にも支障があるので架け替えを要望します。
2. 冬期間の安全で快適な道路交通網を確保します
道路が沈下しマンホールなどが浮き上がっているため、除雪車のハイド板が引っかかる。運転手の危険性も増すので2次改修を要望します。
3. 公共交通機関を充実します
病院・買い物の際にタクシーに頼らざるを得ない高齢者、障がい者も多く、大きな負担となっています。早期に交通業者を含む協議会を立ち上げて、町営バスの運行について町民に提示していただきたい。
(6)緑豊かなふるさとをつくります
1. 緑あふれる美しい景観づくりを進めます
住友公園では、町の協力を得て樹木の剪定や桜の移植、花壇整備を行い、きれいになりましたが、花の苗木購入費の3万円が負担になっています。町内会などが花壇整備に取り組む場合には、財政補助を講じて欲しい。
2. 森林の持つ公益的機能の維持・増進を進めます
林道の整備は、間伐材の搬出効率を上げて森林環境の保全になるほか、熊や鹿などの駆除効率を高めることができる。

4. 魅力ある産業をめざすまちづくり

(2)活力とにぎわいのある商工業をつくります
1. 商工業の活性化を推進します
もっと希望あふれる実施計画で有るべきではないでしょうか。どのような努力をして、景気回復を行っていかうとしているのか伝わってこない計画である。
(3)まちの資源を活かした観光をつくります
1. 観光振興と特産品のPRを推進します
町有林や不老の滝、にわやま森林公園のほか、皆が普段、何気なく利用している場所など、観光とは無縁なところを探し出すような機会を造ることが必要と思います。
町内には、ないえ温泉のほか、民主的な行政や福祉施設、住電などの工場見学、研修会場の提供、寿公園のスポーツ施設など、町外の人をひきつける魅力がいっぱいあります。有志を「観光親善大使」に任命して奮闘してもらってはどうか。また、にわ山自然森林公園は、苫小牧研究林を手本にすると都市部の家族連れの来町が期待できます。商工会などと提携し、新規の取り組みを期待しています。

5. みんなでつくりあげるまちづくり

(1)町民1人ひとりが主役のまちをつくります
2. 行政情報の積極的な公開を推進します
広報ないえは、今のページ数では情報が少ないので、2ページ増を要望します。 独居や高齢の班長さんには、広報誌の配布作業が負担になっていますので、1部当たりの単価を決め、町内会に依頼するか配布者を募集して手当てを出すかの選択をすべき時期に来ています。
3. 多様な町民参加を推進します
まちづくり計画の質疑に有権者の1割以上が関わるしくみの1つとして、2ヶ月に1回「土曜講座」を行い、介護や医療、教育、財政、ごみなどをテーマに町民が自由に語り合う集まりを行い、町民を積極的にサポートして下さい。